

# 赤川 砂防だより

みんなで防ごう土砂災害



発行 新庄河川事務所  
赤川砂防出張所  
国土交通省 第71号 平成24年8月

いよいよ24年度の砂防工事がスタートしより一層、砂防事業、地すべり対策事業並びに広報活動を進めていきたいと考えております。今年度も赤川砂防出張所及び「砂防だより」をよろしく申し上げます。



## ☆今年度の工事紹介☆



### 早田川第一砂防堰堤ほか工事

完了予定時期：平成24年12月頃  
十和建設(株)



砂防堰堤の本堤の一部を造る工事をしています。



### 砂防工事用道路補修工事

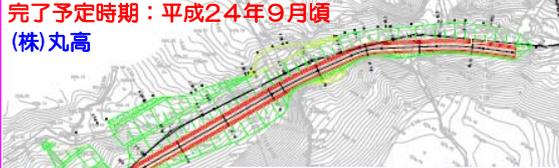
完了予定時期：平成24年9月頃  
(株)王祇建設



昨年度は、遠隔操作ができるカメラを災害時でも使用できるように光ケーブルを地下に埋設しました。  
本年度は引き続き、昨年度光ケーブルを埋設した県道349号鶴岡村上線の道路舗装工事をしています。

### 岩菅沢砂防堰堤工事用道路ほか工事

完了予定時期：平成24年9月頃  
(株)丸高



岩菅沢及び八紘沢に砂防堰堤(右のイメージ写真)を造るため、大型の工事車両が通行できるように工事用道路を造っています。



砂防堰堤イメージ写真

工事中の安全には細心の注意を払っておりますが、県道上での作業や工事車両等の通行が多くなり、工事地域の皆様には大変ご迷惑をおかけします。ご理解・ご協力をお願いします。

# 南砂防部長 現地視察

in七五三掛地区

国土交通省の南砂防部長が平成24年5月19日、鶴岡市大網の七五三掛地区の地すべり現場を現地視察しました。

この七五三掛地区は、平成21年2月に地すべりが始まり、国土交通省が同年6月から半年間、緊急対策工事を実施した結果、地すべり滑動は急速に収まりました。

平成22年からは、農林水産省が隣接する地すべりブロックを含め、農地保全及び営農対策として工事をするようになりました。

当日は、庄内あさひ農地保全事務所長からも現状と今後の事業について説明をして頂きました。



注連寺に設置した集水井



H21年7月工事状況



H21年6月被害状況

## ☆タキタロウまつり☆

6月は「土砂災害防止月間」です。当出張所では土砂災害などの実態と対策を広く一般に知っていただくために、「第27回タキタロウまつり」（5月27日開催）において、広報活動を行いました。

当日は、天気にも恵まれ当出張所では、毎年恒例の砂防パネル展・土石流模型実験及びビデオ上映を行い、たくさんの方々にお越しいただき盛況の内に終わることができました。

中でも子供達に大人気だったのが土石流模型実験！  
一生懸命手を伸ばし袖を水に濡らしながら参加してくれました。



土砂災害模型実験



ビデオ上映  
パネル展示



土砂災害模型実験



赤川砂防出張所ブース



測量機器体験コーナー

# みんなで防ごう土砂災害!

# 大蔵村肘折で地すべり発生

5月13日 20:40 発生 地すべり性大規模崩壊

赤川砂防出張所では、佐藤技術係長が4月25日～5月26日まで、延べ20日間現地対策班に出動しました。

平成24年4月10日大蔵村肘折地区で地すべり性崩壊が発生し銅山川の河道が閉塞しました。温泉街には浸水の危険が及ぶとともに、県道は通行止めとなり一時孤立しました。崩壊頂部に生じた亀裂は地すべり滑動を示し、さらなる崩壊による温泉街での浸水が危惧されました。

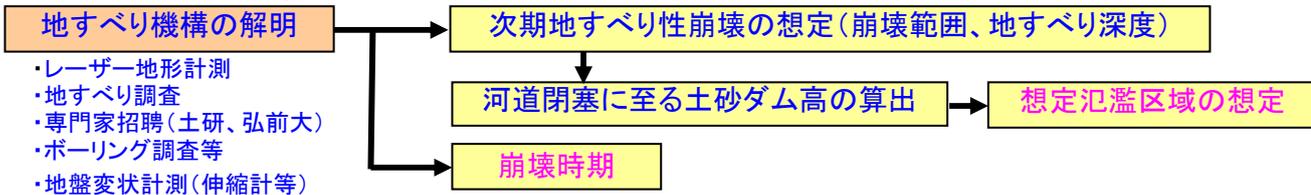
新庄河川事務所では直ちに現地対策班を肘折地区に派遣・常駐させ、当事務所等が所有する照明車などの災害対策車両や遠隔操作型バックホウ等の災害対策資機材を配備し、監視カメラを中心とする監視システムを整備しました。

## 地すべりと河道閉塞に関する高度な技術的支援

集中的に実施した地形解析、斜面変状監視、地すべり調査から想定した、次の崩壊による浸水に対する応急対策計画を策定し、山形県と連携して暫定的な堤防かさ上げと緊急除石のための渡河施設に着手しました。



平成24年5月14日 9時40分撮影

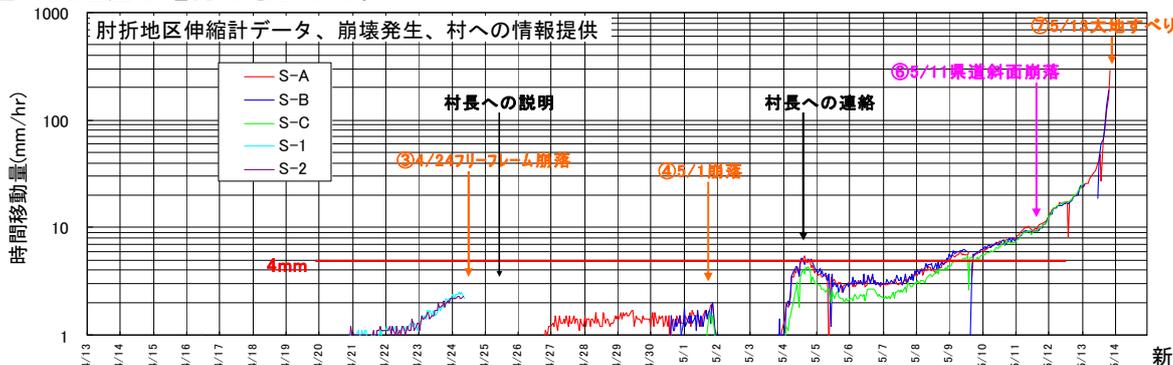


### 河道閉塞に対する応急対策計画策定

- ①温泉街の浸水防止：大型土のうによる応急堤防計画＋内水氾濫防止(排水ポンプ車)
- ②通水断面確保：地すべり土塊の緊急除石・・・左岸側で堆積土砂末端を無人バックホウで除石渡河施設施工

## 崩壊発生時の現地情報収集・分析と関係機関への防災情報提供

地すべり挙動の解析結果から住民避難に関わる情報を大蔵村に積極的に提供していたところ、5月13日20時40分頃地すべり土塊が再度崩落し土砂埋塞が生じましたが、塞ぎ止められた流水は暫定的な堤防により温泉街への氾濫には至りませんでした。翌朝確認したところ、崩壊は想定していた範囲で発生し、ほとんどが崩落し、当面の斜面の安定性は確認できました。



大蔵村現地対策本部



新庄河川事務所 災害対策本部

## 大蔵村肘折の斜面崩落に伴う河道閉塞の対策：渡河施設 完成

厳しい施工環境のもと渡河施設の設置を完了し、現在は山形県による仮排水路の設置工事を支援しています。今後、斜面の安定性と再度の河道への土砂流出について調査・監視しつつ、斜面の安定性と再度の河道への土砂流出に対する抜本的な対策について検討しています。

### 防護壁の施工



### 渡河施設

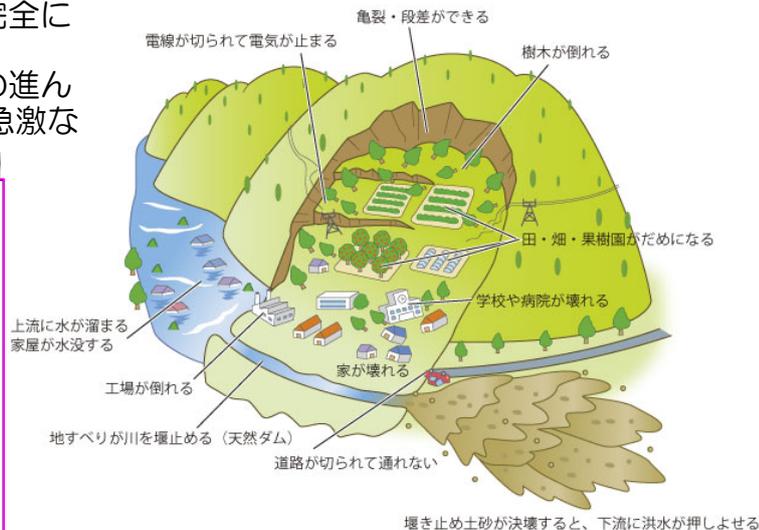
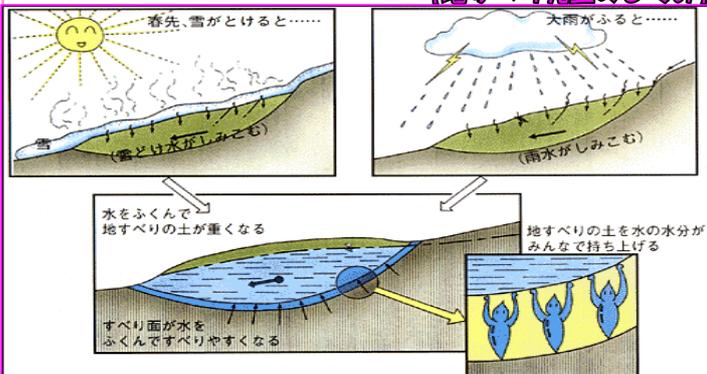


# 地すべりはどうして起こるの??

地すべりは、斜面が梅雨・台風などの大雨や融雪により、多量に供給された地下水の影響によって、地中深くからゆっくりと移動する現象のことをいいます。一般的に移動する土砂量が大きいいため、甚大な被害を及ぼし、また一旦動き出すと完全に停止させることは非常に難しいです。

今年、豪雪に見舞われた大蔵村肘折では融雪の進んだ3月30日に亀裂が発見され、気温の上昇時に急激な滑動が見られました。

## 【地すべり発生のしくみ】



## こんな時は、早めに避難!

土砂災害から身を守るには、土石流・地すべり・がけ崩れ等の危険信号を見落とさないことが大切です。

下の絵のような現象が起きたら注意が必要です。大雨が降った時などは早めに避難しましょう!

### 土砂災害の前兆



「山鳴り」といって、山全体がうなるような音がする時



川の流れが濁ったり、流木が混じっている時



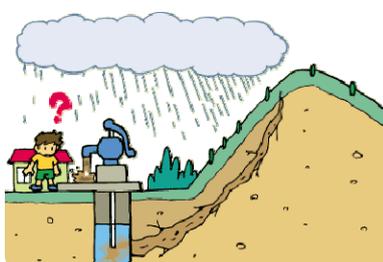
ガケや斜面に割れ目ができた時



ガケから水が湧き出てきた時



ガケから小石がパラパラと落ちてくるようになった時



沢水や井戸水が濁った時



雨が降り続けているのに、川の水量が減っている時

お問い合わせ先

国土交通省 新庄河川事務所  
赤川砂防出張所

HPアドレス <http://www.thr.mlit.go.jp/shinjou/>  
Eメール [shinjou@thr.mlit.go.jp](mailto:shinjou@thr.mlit.go.jp)

みんなで防ごう土砂災害!

〒997-0404 鶴岡市下名川字落合227  
TEL 0235-53-2841 FAX 0235-53-2807

ご覧いただいた感想や、砂防事業・国土交通省の事業へのご質問、ご意見をお寄せください。



まもる君